



新しい環境こそ成長のチャンス

新年度が始まり、子どもが新しい環境に身を置くことで親として心配になるのが「いじめ問題」です。私は、政治には疎い方ですが、アメリカのトランプ大統領の様な強い者がさらに強く、弱い者の気持ちを汲まず(ある意味)いじめるようなリーダーの出現は、子ども社会にも反映され「いじめが増加」するのではないかと懸念しています。

もちろん、どんな理由があろうともいじめは許されません。当然、自分より「弱い子や小さい子をいじめてはいけません」という教育は必要ですが、現実としては、連日起きています。また、いじめは何時どこで起きているか分からないばかりか「陰湿化」して、ますます大人には分からなくなっています。

そこでいじめられ対策は、「いじめられに強い子」に育てることも一案です。いじめられに強くなる「特効薬」はありませんが、私は、①子どもの表現力や行動力を増すこと。②何時も活気のある明るい性格に育てることが有効と考えています。それには、③運動で身心を強くする。④問題が生じた時、親が解決せずに子どもに「悔しい」とか「イヤだなあ」と思う「体験」をさせる。⑤親は、それを子どもと共有しながら「見守り力」を付ける。子育ての極意のひとつに「子どもから目を離すな、ただし、親は、手と口を出すな」という教えがあります。 まっく代表 向井忠義